

2023 年度奨学生募集要項

2023 年 2 月 1 日

公益財団法人 日本証券奨学財団

本財団は、将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な学生を支援したいと考えており、この奨学金は、そのような学生の大学及び大学院における学業及び研究遂行のために給与するものです

1. 奨学金の特色

- (1) 専攻分野は制約しません
- (2) 奨学金は給与であり返済の義務はありません
- (3) 学業修了後の進路は本人の自由です

2. 奨学金の額

月額 4 万 5 千円（自宅外通学者は 5 万 5 千円）※

- 原則、毎月下旬に直接本人に送金します
- 初年度の最初の奨学金は 4 月から 7 月の 4 か月分をまとめて送金します
- ※ 給与期間は、学部或いは各課程の最短修業年限とします
- ※ 通学区分が変更となったときは、奨学金の額の見直しを行います
- ※ 自宅外通学者は 1 万円を上限に住宅費に充当できます

3. 採用予定数

60 名程度

4. 応募対象者

本財団の求める人物像に適う者であり、以下の (1) から (3) に該当する者であって、家庭環境を考慮し学資の援助をすることが必要である者としてします

- (1) 本財団が指定する大学に在籍する学部 2 年生、修士・専門職学位課程 1 年生又は博士課程 1 年生であって、本年 4 月 1 日現在において、学部生 22 歳以下、修士・専門職学位課程生 25 歳以下、博士課程生 28 歳以下である者
- (2) (1) を満たし、指定大学※からの推薦を受けた者
※ 指定大学については財団ホームページをご確認ください
- (3) 他の奨学金等（日本学生支援機構の貸与型奨学金及び所属大学・大学院による授業料免除或いは授業料免除に相当する奨学金等を除く 以下同じ）を受給又は応募（予定を含む）していない者
他の奨学金等の受給又は応募（予定を含む）及び授業料免除相当との判断については、所属大学へ確認を受けることが必要です

(注) 本財団の奨学生に採用された後に他の奨学金等を受給することとなった場合は、併給にあたる期間の奨学金を本財団に返還のうえ、本財団の奨学金は辞退していただきます

5. 応募方法

以下の書類を4月21日までの間に大学を通して本財団に提出してください

(注)学内の募集及び選考、推薦等については大学によりその方法が異なりますから、所属大学の奨学金担当に問い合わせてください

- ① 奨学生願書一式(写真貼付)(学(総)長名の推薦書、指導教員所見、同意書等を含む)
- ② 成績証明書(直近のもの(コピー可))
- ③ 住民票の写し(過去6か月以内に発行されたもの(コピー不可))又は在留カード若しくは特別永住者証明書のコピー(応募者本人と二親等以内の者全員及び扶養者と同居している親族全員分(別家計の者を除く))

提出書類は一切返却しません

6. 選考方法と決定

奨学生選考委員による書類審査及び面接審査を経て奨学生選考委員会が選考し、理事会が決定します

結果は6月中下旬(予定)に大学学(総)長に通知します

(注)書類不備(記入漏れ(申告漏れ含む)、書類の不足等)は選考時において不利になる可能性があります

7. 奨学生の義務

奨学生に採用された場合は、以下の義務を履行すること(奨学生の義務を履行していないと判断された場合は、奨学金の休停止または廃止等となる場合があります)

- (1) 将来社会の各分野において指導的役割を担うべく、研鑽に勤しむこと
- (2) 奨学生としてふさわしい態度と行動をとること
- (3) 奨学金は大学及び大学院における学業及び研究遂行のために使用し、他の目的には使用しないこと
- (4) 本財団への報告や届出等を遅滞なく行うこと
- (5) 本財団の実施する以下の行事に必ず出席し、大学、専攻、世代の垣根を超えた親睦に努め、互いに高め合うこと
 - ・奨学金授与式(2023年度採用の奨学生が対象・2023年7月14日(金)予定)
 - ・奨学生懇談会(10月予定)
 - ・奨学生の集い(大学別に3年毎に現役奨学生、奨学生修了者、大学及び本財団役員等により実施・10月~12月予定)
 - ・奨学生修了式(2023年度修了の奨学生が対象・修了年度の3月上旬予定)
- (6) 奨学生修了時に「証券奨学同友会」※に加入し、勤務先や居所の変更の報告を行うこと

※「証券奨学同友会」とは、本財団の奨学金の給与を受けた者が修了時(飛び級や学術振興会研究員となるため及び他の奨学金等を受給することによる奨学金の辞退を含む)に加入する組織であり、その目的は、会員相互間の親睦、協調をはかることにより本会及び本財団の発展に寄与することであり、本財団の補助を受け、会員相互間或いは在学奨学生との連携をはかる等の事業を行っています

◎ FAQ 及び願書提出後の選考スケジュールについては本財団ホームページをご覧ください

以 上

「2023年度奨学生願書」の作成要領

公益財団法人 日本証券奨学財団

学生のみなさんへ

本財団の奨学金に応募する場合は、指定大学の推薦を受けることが必要です。

募集要項を確認のうえ、学内の応募(募集期間や募集方法等)については、所属大学の奨学金担当に確認してください。推薦を受けた方は大学を通して応募(提出)してください。

1. ページの構成

書類名	ページ	作成者
奨学生候補者推薦書	P.1	推薦指定大学の学(総)長
奨学生願書	P.2～5	学生(応募者)
指導担当教員所見	P.6	指導担当教員
個人情報の利用に関する同意書	P.7	学生(応募者)

2. 学生(応募者)が作成する提出物について

- ① P.2に必要項目を入力の上、P.2～5、P.7をA4片面印刷(白黒またはカラー)してください。
- ② 印刷物にページ崩れやページ漏れがないことを確認の上作成してください。
- ③ 以下の内容を確認の上、添付書類(「募集要項」の「5.応募方法」参照)と併せて大学を通して提出してください。

書類名	ページ	提出物	注意事項
奨学生願書	P.2	入力したものを印刷し、記入、押印、写真貼付(画像挿入不可)した紙 入力したデータ(word)	紙とデータ(word)は必ず同じ内容であること
	P.3～5	記入した紙	
個人情報の利用に関する同意書	P.7	記入、押印した紙	入力不可

P.2～5 「奨学生願書」の入力及び記入例は以下のとおりです。

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

奨 学 生 願 書

入力・記入等例

記入日：2023年 4月 X日

公益財団法人 日本証券奨学財団

理事長 殿

私は、貴財団の奨学生募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします

2023年4月1日以降の月日を記入すること

以下、青色の塗りつぶしセルは全て(氏名欄の「中間(Middle)」はある場合のみ)入力すること

2023年度の所属を正確に入力すること

紙に自署すること(入力不可)

〇〇学部まで
入力すること

1. 応募者

大 学 日本証券大学 氏名(本人自署)


学 部 証券学部

学 科 証券学科

学 年 2年 卒業予定年月 2026年3月

証券 花子

氏 名	氏 Last(Family)	名 First	中間 Middle (ある場合のみ)
	証券	花子	
ふりがな	しょうけん	はなこ	
年齢	4/1現在満 20 歳	生年月日 (西暦)	2003 年 0 月 0 日
性別	女	国籍	日本



〇〇学科まで
入力すること
無い場合は「-」と
入力すること

最短修了年限を入力すること

2023年4月1日の満年齢
※応募対象者は22歳以下

写真貼付(4cm×3cm)
(画像挿入不可)
・上半身・無帽
・6か月以内の撮影
・裏面に大学名と氏名を記入
・カラー

現住所が住民票等と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

2. 応募者の連絡先

郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
現住所 (注1) 市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8	部屋番号まで入力すること	
建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号	自宅・自宅外の別	自宅
電話番号	固定 03-0000-0000	携帯	090-0000-0000
E mail アドレス (注2)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office@suisendaigakuf.or.jp		
郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
扶養者住所 市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8	扶養者と同居の方は「自宅」 扶養者と別居の方は「自宅外」 ※奨学金月額に関係しますので、 正確に入力すること ※独立生計者の場合は「自宅」	
建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号	電話番号	03-0000-0000

(注1) 現住所が住民票等と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください
(注2) E mailアドレスは日常的に使用するものをすべて「,」で区切って入力してください
(注3) 独立生計者(生計維持者が応募者本人)の場合は「扶養者住所電話番号」の全ての欄に「-」と入力してください

常時使用するEmailアドレスを必ず1つ以上入力すること
複数ある場合は「,」で区切ること

扶養者と同居であっても必ず入力すること
扶養者が海外に居住している場合も必ず入力すること
(空欄としないこと)

「3. 大学生活に関して」～「7. 本年度の経済状況」は自筆で記入すること

3. 大学生活に関して
(今思い描く将来の自分と、その将来に向けて大学生活のなかで実践或いは計画していることについて記述してください。また、自らが財団の奨学生としてふさわしいとアピールする内容を記述してください) (※800字程度)

本財団の求める人物像や奨学金の趣旨を理解したうえで記入してください

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

4. 履歴 (高等学校卒業校以降)

年(西暦)	月	学歴・職歴 (アルバイトを除く)
2XX	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2XX	4	〇〇予備校 入学
2XX	3	〇〇予備校 卒業
2XX	4	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 入学

(注) 空白期間のないように記入してください (高校は 〇〇県立、〇〇市立、私立などの別を記入)

5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	〇〇免許 2級
賞 罰	第 X 回全国〇〇大会〇〇賞

記入すべき事項が無い場合はそれぞれの欄に「なし」と記入すること(空欄としないこと)

本人からみて生存する二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入すること

応募者が独立生計者の場合は、扶養者の欄は全て「-」を記入すること

6. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	①自営・勤務・学生・無職の別	②扶養者と同居・別居の別
扶養者 父	証券 父郎	55	勤務	-
母	証券 母美	50	無職	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	証券 姉菜	22	無職	別居
弟	証券 弟太	17	学生	同居
妹	証券 妹香	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	証券 祖母子	75	無職	同居

(注)応募者本人の二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入してください(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

※ 記入した者全員の住民票の写し(コピー不可)等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入): 7,000 千円(年)

(1)の記入例の場合は、本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等※を添付すること

※募集要項の「5.応募方法」の③参照

扶養者と同一家計の者の収入の合計額を記入すること(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)

(2)の記入例の内訳

- ・扶養者
→父・・・勤務の年収が6,000千円
- ・同居(同一家計のため合算要)
→母、弟、妹・・・収入0円
→祖母・・・年金を年額1,000千円受給
- ・別居(別家計のため合算不要)
→兄、姉、祖父

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること
記入すべき事項が無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

※ 世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等

※ 世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

(3) 家庭の実情 (家族の経済状況、健康状態、その他特記事項)

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

(重要)日本学生支援機構(給付型)の授業料免除を受給(申請)する方は、本財団の奨学金に応募できません

7. 本年度の経済状況
(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
貯蓄(目的: 留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	

(重要)「他の奨学金等」の併願及び併給については、大学を通して財団から併願及び併給の承認を事前に受けること
※ 募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すること

7. 本年度の経済状況
(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
貯蓄(目的: 留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	
その他(目的:)	千円		千円
その他(目的:)	千円		千円
合計(注2)	970 千円	合計(注2)	970 千円

大学独自の授業料免除を記入すること
(日本学生支援機構(給付型)は併願・併給不可)

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等の詳細を下の表に記入すること

複数ある場合は合計額

収入と支出の合計額は、
・正しく計算し記入すること
・同額であること

(注1) 原則、本財団の奨学金応募時において、他の奨学金等と併願・併給を認めていないため、本欄は特例(事前に本財団から併願・併給等の承認を受けたもの)に限り使用してください
(注2) 収入と支出の合計が同額になるように記入してください
(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

(2) 上表の「日本学生支援機構(貸与型)」「他の奨学金等」欄に記入している場合は、詳細を記入してください

団体名及び奨学金の名称	年額	給与・貸与の別	受給期間	申請予定・申請中・決定・受給中の別
日本学生支援機構	150 千円	貸与	2023 年 4 月 ~2024 年 3 月	申請中
日本証券大学〇〇奨学金	50 千円	給与	2023 年 4 月 ~2024 年 3 月	決定
	千円		20 年 月 ~20 年 月	

受給の可能性がある、上の表の「収入」の「日本学生支援機構(貸与型)」及び「他の奨学金等」欄の詳細を記入すること

年額で記入すること

日本学生支援機構の貸与型は併願・併給可
// 給付型は併願・併給不可

無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

(3) その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を記入してください

2021年4月から2022年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

P.7 「個人情報の利用に関する同意書」

内容を確認のうえ、枠内の必要項目に記入(入力不可)及び押印すること

記入例
2023年 4 月 X 日
公益財団法人 日本証券奨学財団 理 事 長 殿
私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します
大学名 日本証券大学
本人署名 証券 花子

以 上

「2023年度奨学生願書」の作成要領

公益財団法人 日本証券奨学財団

学生のみなさんへ

本財団の奨学金に応募する場合は、指定大学の推薦を受ける必要があります。

募集要項を確認のうえ、学内の応募(募集期間や募集方法等)については、所属大学の奨学金担当に確認してください。推薦を受けた方は大学を通して応募(提出)してください。

1. ページの構成

書類名	ページ	作成者
奨学生候補者推薦書	P.1	推薦指定大学の学(総)長
奨学生願書	P.2~5	学生(応募者)
指導担当教員所見	P.6	指導担当教員
個人情報の利用に関する同意書	P.7	学生(応募者)

2. 学生(応募者)が作成する提出物について

- ① P.2に必要項目を入力の上、P.2~5、P.7をA4片面印刷(白黒またはカラー)してください。
- ② 印刷物にページ崩れやページ漏れがないことを確認の上作成してください。
- ③ 以下の内容を確認の上、添付書類(「募集要項」の「5.応募方法」参照)と併せて大学を通して提出してください。

書類名	ページ	提出物	注意事項
奨学生願書	P.2	入力したものを印刷し、記入、押印、写真貼付(画像挿入不可)した紙	紙とデータ(word)は必ず同じ内容であること
		入力したデータ(word)	
	P.3~5	記入した紙	入力不可
個人情報の利用に関する同意書	P.7	記入、押印した紙	入力不可

P.2～5 「奨学生願書」の入力及び記入例は以下のとおりです。

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

奨 学 生 願 書

入力・記入等例

記入日：2023年 4月 X日

公益財団法人 日本証券奨学財団

理事長 殿

私は、貴財団の奨学生募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします

2023年4月1日以降の月日を記入すること

以下、青色の塗りつぶしセルは全て(氏名欄の「中間(Middle)」はある場合のみ)入力すること

1. 応募者

2023年度の所属を正確に入力すること


紙に自署すること(入力不可)

〇〇研究科まで入力すること

〇〇専攻まで入力すること
無い場合は「—」と入力すること

学院	日本証券大学大学院		氏名 (本人自署)
研究科	証券学研究科		証券 花子
専攻	証券学専攻		
専攻年	1年	修了予定年月	2025年3月
名	氏 Last(Family)	名 First	中間 Middle (ある場合のみ)
	証券	花子	
ふりがな	しょうけん	はなこ	
年齢	4/1現在満 25 歳	生年月日 (西暦)	1998 年 0 月 0 日
性別	女	国籍	日本

最短修了年限を入力すること



2023年4月1日の満年齢
※応募対象者は25歳以下

写真貼付(4cm×3cm)

(画像挿入不可)

- ・上半身・無帽
- ・6か月以内の撮影
- ・裏面に大学名と氏名を記入
- ・カラー

現住所が住民票等と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

2. 応募者の連絡先

郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
現住所 (注1) 市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号
電話番号	固定 03-0000-0000	携帯	090-0000-0000
E mail アドレス (注2)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office@suisendaigakuf.or.jp		
扶養者住所 電話番号 (注3)	郵便番号 000-0000	都道府県	東京都
	市区町村・番地	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号
	電話番号	電話番号	03-0000-0000

(注1) 現住所が住民票等と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください
 (注2) E mailアドレスは日常的に使用するものをすべて「,」で区切って入力してください
 (注3) 独立生計者(生計維持者が応募者本人)の場合は「扶養者住所電話番号」の全ての欄に「-」と入力してください

部屋番号まで入力すること

扶養者と同居の方は「自宅」
 扶養者と別居の方は「自宅外」
 ※奨学金月額に関係しますので、正確に入力すること
 ※独立生計者の場合は「自宅」

常時使用するEmailアドレスを必ず1つ以上入力すること
 複数ある場合は「,」で区切ること

扶養者と同居であっても必ず入力すること
 扶養者が海外に居住している場合も必ず入力すること
 (空欄としないこと)

「3. 大学生活に関して」～「7. 本年度の経済状況」は自筆で記入すること

3. 大学生活に関して
 (今思い描く将来の自分と、その将来に向けて大学生活のなかで実践或いは計画していることについて記述してください。また、自らが財団の奨学生としてふさわしいとアピールする内容を記述してください) (※800字程度)

本財団の求める人物像や奨学金の趣旨を理解したうえで記入してください

自筆で記入すること
 (PCでの入力不可)

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

4. 履歴 (高等学校卒業校以降)

年(西暦)	月	学歴・職歴 (アルバイトを除く)
2XXX	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2XXX	4	〇〇予備校 入学
2XXX	3	〇〇予備校 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 入学
2XXX	3	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 修士課程 入学

(注) 空白期間のないように記入してください (高校は 〇〇県立、〇〇市立、私立などの別を記入)

5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	〇〇免許 2級
賞罰	第X回全国〇〇大会〇〇賞

記入すべき事項が無い場合はそれぞれの欄に「なし」と記入すること(空欄としないこと)

本人からみて生存する二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入すること

応募者が独立生計者の場合は、扶養者の欄は全て「-」を記入すること

6. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	①自営・勤務・学生・無職の別	②扶養者と同居・別居の別
扶養者 父	証券 父郎	55	勤務	-
母	証券 母美	50	無職	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	証券 姉菜	22	無職	別居
弟	証券 弟太	17	学生	同居
妹	証券 妹香	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	証券 祖母子	75	無職	同居

(注)応募者本人の二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入してください(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

※ 記入した者全員の住民票の写し(コピー不可)等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入): 7,000 千円(年)

(1)の記入例の場合は、本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等※を添付すること

※募集要項の「5.応募方法」の③参照

扶養者と同一家計の者の収入の合計額を記入すること(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)

(2)の記入例の内訳

- ・扶養者
→父・・・勤務の年収が6,000千円
- ・同居(同一家計のため合算要)
→母、弟、妹・・・収入0円
→祖母・・・年金を年額1,000千円受給
- ・別居(別家計のため合算不要)
→兄、姉、祖父

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること
記入すべき事項が無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

※ 世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等

※ 世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

(3) 家庭の実情 (家族の経済状況、健康状態、その他特記事項)

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

7. 本年度の経済状況

(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
貯蓄(目的:留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	

(重要)「他の奨学金等」の併願及び併給については、大学を通して財団から併願及び併給の承認を事前に受けること
※ 募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すること

7. 本年度の経済状況

(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
(目的:留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	
その他(目的:)	千円		千円
その他(目的:)	千円		千円
合計(注2)	970 千円	合計(注2)	970 千円

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等の詳細を下の表に記入すること

収入と支出の合計額は、
・正しく計算し記入すること
・同額であること

複数ある場合は合計額

(注1) 原則、本財団の奨学金応募時において、他の奨学金等と併願・併給を認めていないため、本欄は特例(事前に本財団から併願・併給等の承認を受けたもの)に限り使用してください
(注2) 収入と支出の合計が同額になるように記入してください
(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

(2) 上表の「日本学生支援機構(貸与型)」、「他の奨学金等」欄に記入している場合は、詳細を記入してください

団体名及び奨学金の名称	年額	給与・貸与の別	受給期間	申請予定・申請中・決定・受給中の別
日本学生支援機構	150 千円	貸与	2023 年 4 月 ～2024 年 3 月	申請中
日本証券大学〇〇奨学金	50 千円	給与	2023 年 4 月 ～2024 年 3 月	決定
	千円		20 年 月 ～20 年	

受給の可能性がある、上の表の「収入」の「日本学生支援機構(貸与型)」及び「他の奨学金等」欄の詳細を記入すること

年額で記入すること

日本学生支援機構の貸与型は併願・併給可


無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

(3) その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を記入してください

2021年4月から2022年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

P.7 「個人情報の利用に関する同意書」

内容を確認のうえ、枠内の必要項目に記入(入力不可)及び押印すること

記入例
2023年 4月 X日
公益財団法人 日本証券奨学財団
理 事 長 殿
私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します
大学名 日本証券大学大学院
本人署名 証券 花子 

以 上

「2023年度奨学生願書」の作成要領

公益財団法人 日本証券奨学財団

学生のみなさんへ

本財団の奨学金に応募する場合は、指定大学の推薦を受けることが必要です。

募集要項を確認のうえ、学内の応募(募集期間や募集方法等)については、所属大学の奨学金担当に確認してください。推薦を受けた方は大学を通して応募(提出)してください。

1. ページの構成

書類名	ページ	作成者
奨学生候補者推薦書	P.1	推薦指定大学の学(総)長
奨学生願書	P.2~5	学生(応募者)
指導担当教員所見	P.6	指導担当教員
個人情報の利用に関する同意書	P.7	学生(応募者)

2. 学生(応募者)が作成する提出物について

- ① P.2~3に必要項目を入力の上、P.2~5、P.7をA4片面印刷(白黒またはカラー)してください。
- ② 印刷物にページ崩れやページ漏れがないことを確認の上作成してください。
- ③ 以下の内容を確認の上、添付書類(「募集要項」の「5.応募方法」参照)と併せて大学を通して提出してください。

書類名	ページ	提出物	注意事項
奨学生願書	P.2	入力したものを印刷し、記入、押印、写真貼付(画像挿入不可)した紙	紙とデータ(word)は必ず同じ内容であること
		入力したデータ(word)	
	P.3	入力したものを印刷し、記入した紙	
		入力したデータ(word)	
P.4~5	記入した紙	入力不可	
個人情報の利用に関する同意書	P.7	記入、押印した紙	入力不可

P.2～5 「奨学生願書」の入力及び記入例は以下のとおりです。

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

奨 学 生 願 書

入力・記入等例

記入日：2023年 4月 X日

公益財団法人 日本証券奨学財団

理事長 殿

私は、貴財団の奨学生募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします

2023年4月1日以降の月日を記入すること

以下、青色の塗りつぶしセルは全て(氏名欄の「中間(Middle)」はある場合のみ)入力すること

2023年度の所属を正確に入力すること

紙に自署すること(入力不可)

〇〇研究科まで入力すること

〇〇専攻まで入力すること
無い場合は「-」と入力すること

最短修了年限を入力すること

1. 応募者		大学 院		日本証券大学大学院	氏名 (本人自署)		証券 花子	
研究 科		証券学研究科		修了予定年月		2026年3月		
専 攻		証券学専攻		氏 名		氏 Last(Family) 名 First 中間 Middle (ある場合のみ)		
学 年		1年		氏 名		証券 花子		
ふりがな		しょうけん はなこ		年齢		4/1現在満 28 歳 生年月日 (西暦) 1995 年 0 月 0 日		
性別		女		国籍		日本		

2023年4月1日の満年齢
※応募対象者は28歳以下

写真貼付(4cm×3cm)
(画像挿入不可)
・上半身・無帽
・6か月以内の撮影
・裏面に大学名と氏名を記入
・カラー

現住所が住民票等と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

2. 応募者の連絡先

郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
現住所(注1) 市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号
電話番号	固定 03-0000-0000	携帯	090-0000-0000
E-mailアドレス(注2)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office@suisendaigaku.or.jp		
扶養者住所電話番号(注3)	郵便番号 000-0000	都道府県	東京都
	市区町村・番地	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号
	電話番号		03-0000-0000

(注1) 現住所が住民票等と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください
 (注2) E-mailアドレスは日常的に使用するものをすべて「,」で区切って入力してください
 (注3) 独立生計者(生計維持者が応募者本人)の場合は「扶養者住所電話番号」の全ての欄に「-」と入力してください

部屋番号まで入力すること

扶養者と同居の方は「自宅」
 扶養者と別居の方は「自宅外」
 ※奨学金月額に関係しますので、正確に入力すること
 ※独立生計者の場合は「自宅」

常時使用するEmailアドレスを必ず1つ以上入力すること
 複数ある場合は「,」で区切ること

扶養者と同居であっても必ず入力すること
 扶養者が海外に居住している場合も必ず入力すること
 (空欄としないこと)

「3. 研究の状況と将来計画(②を除く)」～「7. 本年度の経済状況」は自筆で記入すること

3. 研究の状況と将来計画

本財団の求める人物像や奨学金の趣旨を理解したうえで記入してください

① 指導担当教員の氏名・職名	
② 研究テーマ	
③ 研究の背景	

自筆で記入すること
 (PCでの入力不可)

本欄は入力すること

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

4. 履歴(高等学校卒業校以降)

年(西暦)	月	学歴・職歴(アルバイトを除く)
2XXX	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2XXX	4	〇〇予備校 入学
2XXX	3	〇〇予備校 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 入学
2XXX	3	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 修士課程 入学
2XXX	3	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 修士課程 修了
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 博士課程 入学

(注) 空白期間のないように記入してください(高校は 〇〇県立、〇〇市立、私立などの別を記入)

5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	〇〇免許 2級
賞罰	第X回全国〇〇大会〇〇賞

記入すべき事項が無い場合はそれぞれの欄に「なし」と記入すること(空欄としないこと)

本人からみて生存する二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入すること

応募者が独立生計者の場合は、扶養者の欄は全て「-」を記入すること

6. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	①自営・勤務・学生・無職の別	②扶養者と同居・別居の別
扶養者 父	証券 父郎	55	勤務	-
母	証券 母美	50	無職	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	証券 姉菜	22	無職	別居
弟	証券 弟太	17	学生	同居
妹	証券 妹香	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	証券 祖母子	75	無職	同居

(注)応募者本人の二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入してください(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

※ 記入した者全員の住民票の写し(コピー不可)等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入): 7,000 千円(年)

(1)の記入例の場合は、本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等※を添付すること

※募集要項の「5.応募方法」の③参照

扶養者と同一家計の者の収入の合計額を記入すること(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)

(2)の記入例の内訳

- ・扶養者
→父・・・勤務の年収が6,000千円
- ・同居(同一家計のため合算要)
→母、弟、妹・・・収入0円
→祖母・・・年金を年額1,000千円受給
- ・別居(別家計のため合算不要)
→兄、姉、祖父

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること
記入すべき事項が無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

※ 世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等

※ 世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

(3) 家庭の実情 (家族の経済状況、健康状態、その他特記事項)

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

7. 本年度の経済状況

(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
貯蓄(目的:留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	

(重要)「他の奨学金等」の併願及び併給については、大学を通して財団から併願及び併給の承認を事前に受けること
※ 募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すること

7. 本年度の経済状況

(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1)(申請予定・申請中含む)	50 千円
(目的:留学)	100 千円	※本欄は、本財団に事前に承認を得たもの限り使用可	
その他(目的:)	千円		千円
その他(目的:)	千円		千円
合計(注2)	970 千円	合計(注2)	970 千円

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等の詳細を下の表に記入すること

複数ある場合は合計額

収入と支出の合計額は、
・正しく計算し記入すること
・同額であること

(注1) 原則、本財団の奨学金応募時において、他の奨学金等と併願・併給を認めていないため、本欄は特例(事前に本財団から併願・併給等の承認を受けたもの)に限り使用してください

(注2) 収入と支出の合計が同額になるように記入してください

(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

(2) 上表の「日本学生支援機構(貸与型)」・「他の奨学金等」欄に記入している場合は、詳細を記入してください

団体名及び奨学金の名称	年額	給与・貸与の別	受給期間	申請予定・申請中・決定・受給中の別
日本学生支援機構	150 千円	貸与	2023 年 4 月 ~2024 年 3 月	申請中
日本証券大学〇〇奨学金	50 千円	給与	2023 年 4 月 ~2024 年 3 月	決定
	千円		20 年 月 ~20 年	

受給の可能性がある、上の表の「収入」の「日本学生支援機構(貸与型)」及び「他の奨学金等」欄の詳細を記入すること

年額で記入すること

日本学生支援機構の貸与型は併願・併給可


無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

(3) その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を記入してください

2021年4月から2022年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

P.7 「個人情報の利用に関する同意書」

内容を確認のうえ、枠内の必要項目に記入(入力不可)及び押印すること

記入例
2023年 4月 X日
公益財団法人 日本証券奨学財団
理 事 長 殿
私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します
大学名 日本証券大学大学院
本人署名 証券 花子 

以 上

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL (_____)	
氏 名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称		給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年			万円	万円		
		母					年			万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額		
		本人			筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()						万円		
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)							認 定		
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()							総収入金額	① 万円	
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()							必要経費	② 万円	
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()							特別控除額	③ 万円	
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()							総所得金額	④=①-②-③ 万円	
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。